

緊急速報

いよいよ各社のサービスがスタート！ 申し込む前に確認しておきたいチェックポイント

12Mbps ADSL 乗り換え Q & A

いよいよ各社の12M ADSL サービスが出揃った。現在の8Mサービスからの乗り換えを考えている人も多いだろうが、12Mサービスはどのくらい使えるのだろうか。気になるチェックポイントを、Q&A形式でまとめてみよう。

text : 編集部

Q 料金は今までよりも高くなるの？

ほとんどのプロバイダーでは、12Mbpsになっても料金はあまり変わりません。Yahoo! BBの場合では、プロバイダー料金が200円、モデムのレンタル料金が200円の合わせて400円高くなります。一方、アッカ・ネットワークスやイー・アクセスの回線を使うプロバイダーの場合には、ほとんど料金に変更はなく、高くなっても100円程度です(149ページの表も参照してください)。また、8Mbpsサービスから12Mbpsサービスに変更する場合の料金については、まだ未定の業者が多いのですが、高くても数千円程度になるでしょう。

Yahoo! BB	
8M	12M
2,970円	3,370円 (+400円)
アッカ・ネットワークス (ASAHIネット)	
8M	12M
3,130円	3,130円 (変わらず)
イー・アクセス (東京電話インターネット)	
8M	12M
3,320円	3,370円 (+50円)

A Yahoo! BBはプラス400円、その他のプロバイダーはほぼ同額です

Q ADSL モデムは今までのものと変わりますか？

各事業者とも、12Mbpsサービスは新しいADSLモデムでなければ利用できません。ADSLモデムを買い取ってしまった方には気の毒ですが、必ず新しいモデムへの交換が必要になります。8Mbpsのサービスから乗り換えるとなると、現在レンタルしているモデムは返却して、新しいモデムをレンタルする形になるでしょう。

また、アッカ・ネットワークスでは、ADSLのファームウェアをアップデートして最大通信可能速度を10Mbpsに引き上げるサービスを実施していますが、10月から開始される12Mbpsのサービスでは新しいADSLモデムへの変更が必要になります。



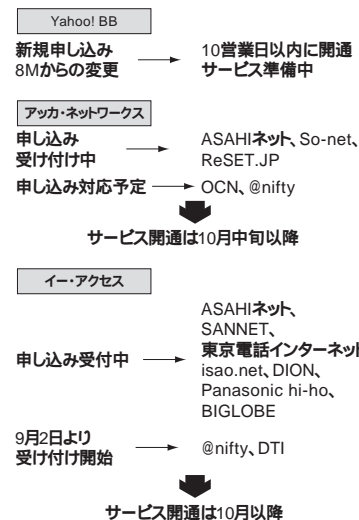
アッカ・ネットワークスの12Mbpsサービスで利用される新しいADSLモデム、富士通の「FLASHWAVE 2040 M1」

A 12M対応の新しいADSLモデムへの交換が必要です

Q いつから12Mサービスは使えるの？

もっとも早く12Mbpsのサービスが使えるのはYahoo! BBで、現在新規に申し込みれば、すぐに12Mbpsサービスが使えます。ただし、現在Yahoo! BBの8Mbpsサービスを利用しているユーザーについては、12Mbpsサービスへの変更は受け付けていません。変更の申し込み開始時期も8月19日現在ではまだ未定となっています。

イー・アクセスとアッカ・ネットワークスでは、すでに12Mbpsサービスの申し込みは一部プロバイダーで始まっていますが、実際にサービスが開始されるのは10月以降の予定となっています。また、現在8Mbpsサービスを使っているユーザーについても、12Mbpsサービスに変更が可能となるのは、10月以降の予定です。



A Yahoo! BBの新規申し込みなら今すぐ、それ以外は10月以降の予定です

Q 現在の実効速度は約3Mbpsですが、12Mサービスにすると速くなりますか？

各社の12Mbpsサービスは、おもに以下のような技術によって、従来よりも速度を向上させています。

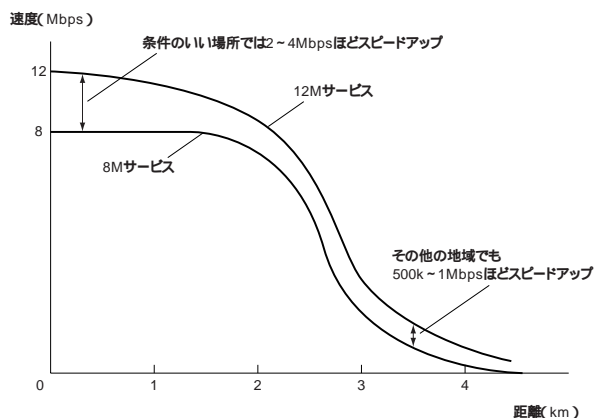
回線品質が良好であれば、エラー訂正用の符号を省略して、その分をデータ通信にまわす

上り信号で使用している周波数帯に、下り信号も重ねて送信する

ADSL モデムのアナログ - デジタル変換精度の向上

は現在でも8Mbps程度で通信できているユーザーのみに有効な技術ですが、
によってその他のユーザーでも500k ~ 1Mbps程度の速度向上が期待できます。

NTT局からの距離と通信速度



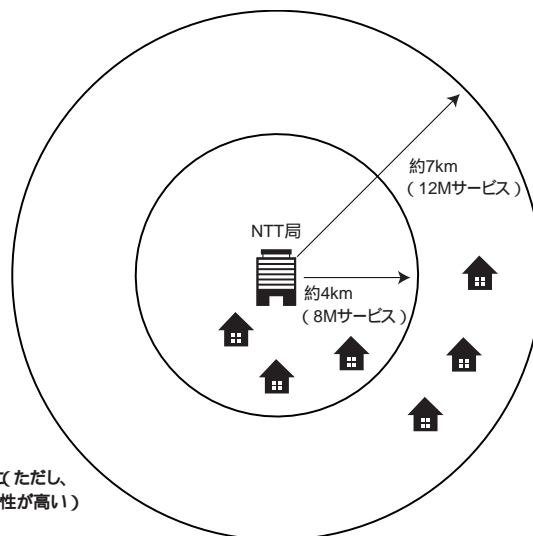
8Mサービスと12Mサービスの、電話局からの距離と通信速度の関係は、だいたいこのグラフのようになる。近距離のユーザーほどスピードアップの幅も大きいですが、全体的に500k ~ 1Mbps程度のスピードアップも期待できる

A 500k ~ 1Mbps程度速くなると期待できます

Q NTT局からの距離が遠いのですが、申し込めますか？

これまではADSLサービスを利用できるのは電話局からの距離が4km程度のユーザーに限られてきましたが、12Mbpsサービスで使われる新しいモデムで利用される技術は、遠距離でも回線速度を向上させるため、理論的には7km程度電話局から離れたユーザーでもADSLが利用可能になると推定されています。このため、以前にADSLのサービス提供が不可能だと判断された人でも、新しいモデムならば通信できる可能性があるため、再度ADSLを申し込んでみる価値はあるでしょう。

8Mサービスと12Mサービスの距離の違い



NTT局から遠いユーザーでも利用可能に(ただし、7kmでは速度は1Mbps以下になる可能性が高い)

A NTT局から距離の遠いユーザーでもADSLが使えるようになります

12Mサービス 回線事業者3社のサービス

ヤフー「Yahoo! BB 12Mサービス」 bbpromo.yahoo.co.jp

Yahoo! BBはすでに12Mbpsサービスを開始しており、新規契約であれば今すぐに申し込み可能で、これまでのサービスと同様に申し込みから開通までは10営業日以内が目標となっている。初期費用は現在キャンペーン期間となっているため無料で、月額料金は2,480円。さらにモデムのレンタル料として月額890円が必要だが、これも現在はキャンペーン期間のため最大2か月間は無料となっている。

12Mbpsサービスに使われる新しいモデ

ムは、従来 Yahoo! BBが使ってきた Annex.A方式に加えて、より速度を向上させた Annex.A.ex、ISDNとの干渉に強い Annex.C方式の3通りのうち、もっともいい条件で通信できる方式を自動で切り替えるようになっている。ただし、本体のLEDからはこの3つのうちのどの方式で接続されているのかはわからないのはやや不満な点だ。また、このモデムは標準でインターネット電話「BBフォン」も利用できるようになっている。



初期費用	無料(キャンペーン期間)
月額料金	2,480円
モデム料金	890円(レンタル・月額) / 42,720円(買取)
通信速度	12Mbps(下り) / 1Mbps(上り)
通信方式	Annex A.ex, Annex.A, Annex.C(自動切替)
開始時期	新規申し込みの場合は10営業日で開通(従来のユーザーからの申し込みは準備中)

アッカ・ネットワークス「12Mbpsサービス」 www.acca.ne.jp

アッカ・ネットワークスの12Mbpsサービスは、8月19日現在ではASAHIネット、Sonet、ReSET.JPの3社について、申し込みを受け付けており、ほどなくOCNと@niftyも受け付けを開始する予定だ。ただし、サービスが実際に開始されるのは10月中旬の予定で、いま申し込んでも、それまでは従来の8Mbpsサービスを利用することになる。また、サービス開始当初は全国の対応局のうち534局のみの対応となるが、年内には現在サービスを提供してい

る717局すべてで12Mbpsサービスに対応する予定だ。

初期費用、月額料金はプロバイダーによって異なるが、どのプロバイダーでもこれまでの8Mbpsサービスとほぼ同じ料金となっている。12Mbpsでサービスに利用するモデムは、富士通製の「FLASHWAVE 2040 M1」で、上り信号と下り信号を同帯域に送る「C.x」技術や、誤り訂正を一部省略してデータの通信速度を向上させる「S=1/2」技術に対応している。



初期費用	2,800円～
月額料金	2,280円～(プロバイダーによって異なる)
モデム料金	500円(レンタル・月額)
通信速度	12Mbps(下り) / 1Mbps(上り)
通信方式	Annex.C(C.x)
開始時期	申し込みを受け付け中(新規・変更とも) サービス開通は10月中旬以降

イー・アクセス「ADSL プラス」 www.eaccess.net

イー・アクセスの12Mbpsサービス「ADSL プラス」も、現在はサービスの受け付けのみを行っており、サービスが実際に利用できるのは10月以降の予定だ。サービスの受け付けはASAHIネットやSANNETなど6つのプロバイダーで開始されている。月額料金はプロバイダーによって異なるが、イー・アクセスでもほとんどのプロバイダーは8Mサービスとほとんど同じ料金になる見通しだ。

12Mbpsサービスで使うADSLモデム

は、NECアクセステクニカの「Aterm DR202C」が利用される予定。モデムとしてはルータータイプだが、ルーター機能を使わずにブリッジタイプのモデムとしても利用できる。また、このモデムは従来の8Mサービスにも対応しているの、先に12Mbpsサービスの申し込みを済ませたユーザーは、先にこのモデムで8Mサービスを開通させて、あとから12Mサービスを利用することもできる。



初期費用	800円～
月額料金	1,980円～(プロバイダーによって異なる)
モデム料金	500円(レンタル・月額)
通信速度	12Mbps(下り) / 1Mbps(上り)
通信方式	Annex.C
開始時期	申し込みを受け付け中(新規・変更とも) サービス開通は10月以降

速くなっても料金はほぼ同じ 各プロバイダーの対応状況

8月19日現在の、各プロバイダーの12Mbps対応サービスの料金と、サービス開始や申し込み受け付け開始の時期をまとめてみた。料金についてはまだ未定のプロバイダーも多いが、すでに料金を発表しているプロバイダーの傾向からすると、だいたいどのプロバイダーでも従来の8Mbpsサービスとほぼ同じ料金になるの

では推測される。

現在、8Mbpsサービスを利用しているユーザーの12Mbpsサービスへの乗り換えについては、Yahoo! BBは開始時期未定、アッカ・ネットワークスとイー・アクセスはサービス開始と同時の10月以降になる見通しだ。

回線	プロバイダー名	12Mサービス		8Mサービス		8Mサービスからの乗り換えについて
		初期費用	月額料金	初期費用	月額料金	
(Y)	Yahoo! BB	2,800円	3,370円	2,800円	2,970円	乗り換えは現状では受け付けていない。受け付け開始時期は未定(8月15日現在)
(A)	@nifty	未定	未定	3,300円	3,280円	料金などは10月に発表予定
(A)	ASAHIネット	2,800円	3,130円	2,800円	3,130円	手数料2,500円
(A)	BIGLOBE	3,300円	3,880円	2,800円	3,780円	未定
(A)	OCN	未定	未定	2,800円	3,980円	未定
(A)	ReSET.JP	3,980円	4,480円	3,980円	4,480円	8月中に受け付けを開始する予定
(A)	So-net	2,800円	3,780円	2,800円	3,780円	手数料3,000円
(E)	@nifty	未定	未定	3,300円	2,780円	料金などは10月に発表予定
(E)	ASAHIネット	2,800円	3,580円	2,800円	3,130円	申し込みは10月中旬以降の予定
(E)	BIGLOBE	3,300円	3,880円	3,300円	3,780円	未定
(E)	BB online	未定	未定	4,600円	2,890円	未定
(E)	DION	3,600円	3,670円	3,600円	3,670円	手数料3,300円
(E)	DreamNet	未定	未定	3,300円	3,780円	未定
(E)	DS Networks	未定	未定	2,800円	3,450円	未定
(E)	DTI	3,300円	3,780円	3,300円	3,780円	未定
(E)	Highway Internet	未定	未定	2,800円	3,950円	未定
(E)	Panasonic hi-ho	3,300円	3,780円	3,300円	3,780円	10月より受け付け開始、手数料4,200円
(E)	IlJmio	未定	未定	6,800円	4,300円	未定
(E)	interQ MEMBERS	未定	未定	3,800円	4,180円	未定
(E)	isao.net	3,300円	3,880円	1,800円	3,780円	未定
(E)	JENS SpinNet	3,300円	4,080円	3,000円	-	12Mbpsサービスより新規に開始
(E)	ODN	未定	未定	2,800円	3,380円	未定
(E)	SANNET	800円	3,580円	800円	3,480円	10月より受け付け開始
(E)	東京電話インターネット	3,300円	3,470円	3,300円	3,370円	10月より受け付け開始
(E)	U-net SURF	未定	未定	2,800円	3,450円	未定

回線の(Y)はYahoo! BB、(A)はアッカ・ネットワークス、(E)はイー・アクセス
料金はすべて電話回線を共用するタイプ1の場合で、ADSLモデムのレンタル料金を含んだもの。キャンペーン価格などは除く。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp